

船舶事故調査報告書

令和元年6月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成31年1月17日 08時22分ごろ
発生場所	沖縄県南 ^{なんじょう} 城市 ^{おうち} 奥武島東方沖 奥武港第2号灯標から真方位074° 1.2海里付近 (概位 北緯26° 07.8′ 東経127° 48.1′)
事故の概要	ミニボート（船名なし）は、航行中、転覆した。
事故調査の経過	平成31年1月22日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	ミニボート（船名なし）、総トン数なし（全長2.5m）
船舶番号、船舶所有者等	なし、個人所有
乗組員等に関する情報	操縦者、操縦免許 なし
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 4、視界 良好 海象：うねり 波向南、波高約1m、潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	<p>本船は、操縦者が船尾部に置いたクーラーボックスに座って船外機の操縦レバーを操作し、同乗者が中央部の板に座り、船尾の乾舷が約20cmの状態東進中、操縦者が、釣り場を通過したことに気付いて本船をUターンさせた後、同乗者から船尾部に海水が溜まっていることを知らされ、船尾部が沈み始めたので、同乗者と共に海中に飛び込み、間もなく転覆した。</p> <p>操縦者及び同乗者は、118番通報してクーラーボックスにつかまっていたところ、来援した水難救済会の所属船に救助された。</p> <p>操縦者及び同乗者は、固型式救命胴衣を着用していた。</p>
分析	本船は、航行中、Uターンしている間に船尾方から乾舷を超える波を受けたことから、海水が船内に流入して転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、航行中、Uターンしている間に船尾方から乾舷を超える波を受けたため、海水が船内に流入して転覆したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニボートは、乾舷が小さく、波の影響を受けやすいので、波が高い場合には、出港を控えること。